

コロナ禍だからこそ考えたいマイクレド -子どもの最善の利益を目指した保育を職員と作る-

新型コロナウイルスの感染拡大の影響がはじまってから長い月日が経過しました。思えば“登園自粛”“臨時休園”“園内の消毒”“行事の中止・縮小・見直し”等々、園の運営について悩みながら判断してきた気がします。そして、この判断が正しかったのか？今でも悩むことがあります。

このような状況の中、八王子市にあります諏訪保育園園長 島本一男氏を講師としてお招きし、コロナ禍の中どのように保育園を運営してきたか？大切にしたもの何か？園の事例も併せてこれからの職員の育成などについて話して頂こうと思います。

島本先生からは「園の理念をいかに職員と共有するかをいうような内容です。コロナ禍にこそ子どもに責任を負わせない保育を想像するには職員一人一人の資質向上が欠かせません。そのための具体的な活動をお伝えできればと思います。」とお言葉を頂いております。

私達も子どもの最善の利益を目指した保育とは何かを一緒に考える時間になればと思います。ぜひご参加ください。

クレド (credo) とは、ラテン語で「志」「信条」「約束」を意味する言葉です。ビジネスでは企業全体の従業員が心がける信条や行動指針を示します。企業（経営）理念は企業の進むべき方向や理想の姿を抽象的な文言で表していることに対して、全従業員が意識すべき指針を具体的な行動ベースまで落として表しているのがクレドです。

日 時 2022 年 1 月 1 8 日(火) 15:30~17:00

場 所 相模原市教育会館 3 階 大会議室にて

講 師 諏訪保育園園長 島本一男 氏

【講師プロフィール】

大学で機械工学の勉強をし営業マンに。ビジネスマンから保育所用務員、用務員から保育士、保育士から園長へ。

紙芝居・脚本『どっちだ』『どんぐりのあかちゃん』『ザリガニつり』などがある

著書『園長パパの豊かな食育実践: 給食は子どもの育つ環境と社会を豊かにする力がある』芽ばえ社

『作る 育てる 食べる 自然とあそぼう』(すぐに生かせる実技シリーズ)などがある

最近の著書

『集団っていいな: 一人ひとりのみんなが育ち合う社会を創る』今井和子 島本一男 (編著) ミネルヴァ書房

資料の印刷数の把握等の為下記アドレス (QR コード) 内のフォームにてお申込みください。

<https://docs.google.com/forms/d/176ur2Q3N1deKHxS38aCwSdFdezXBmJdkrZ2SqfIHGBI/edit>

ご不明な点がございましたらお手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

問い合わせ先 エンゼル保育園 奥田 TEL 042(776)0906

Email enzelhoikuen@carrot.ocn.ne.jp

